



一年間全然降らなかった雨が最近になってよく降っています。26日はザーザー降り、日本では普通の雨もここではビックリしました。このところのしとしと雨で、私の車は凄く汚れていたの、洗車に行ったら洗車機械が壊れていて洗えなくて困っていたら、さすがの激しい雨できれいになりました。

そうこうしているうちにもう3月です。卒業式ももうすぐ。今年は、高橋くんとカリファくんのG6の2名で、その後も引き続き中学部で会えますが、みんなで盛大にお祝いしましょう。

サッカー日本代表との交流は、大盛況で、100名の参加者になりました。みんな、寄せ書きでもして、応援したいと思います。

スポーツと言えば、昨日まで開催されていた「冬季アジア札幌大会」フィギュアスケートにUAEの女子選手が前進を覆う「ヒジャブ」を纏って出場しました。沢山の苦労を重ね、はじめは親の反対もあったけれど、私はこれを頑張りたいという熱意に親も応援してくれるようになって、ここからがこころしいのですが、親が専用のスケートリンクを造ってくれたそうです。演技を観ましたが、素晴らしいものでした。やはり、自分自身がやりたいと決意して取り組んでいることですから、向上していくんですね。

私は、日本の選手への応援と同じくらいに応援しました。



様々な偏見を乗り越えて五輪出場を目指すイスラム教国のフィギュアスケーターが、リンクに立った。23日の女子ショートプログラム(SP)に出場し、髪の毛を隠すヒジャブをまとい、脚を隠したグレーの落ち着いた衣装で舞った。アラブ首長国連邦(UAE)の21歳。挑戦した二つの3回戦ジャンプは十分回りきれず、2回戦半ジャンプでは転倒した。23・31点で24人中19位だった。

映画「アイス・プリンセス」が好きで12歳の頃に競技を始めた。「難しかった。最初はいくつものバリエーションを越えなければいけなかった」。冬のスポーツは

(後藤太輔)

2月25日朝日新聞

衣装の減点・批判を越えて

なまじり
すげい

フィギュア

サー・ラリ(UAE)

ほとんどなく、最初の3年間は週1回の練習。女性がスポーツをすることは珍しく、SNSで批判を受けたことも。髪の毛や全身を覆う衣装は、ジャッジによっては点を低くする対象となった。国際スケート連盟と直接交渉し、衣装による減点をやめてもらった。

今では国のサポートも増え、ロシア人コーチを招いた。トップスケーターは6人だが、後を追う子どもも100人以上がアブダビ唯一のリンクで練習しているという。「今大会はとてもいい経験。夢は五輪に出ることです」。UAE初の冬季五輪出場に思いをはせた。

海外での医療

海外で生活していると、やはり何よりも心配なのが健康の事だと思います。

自分では元気大丈夫だと思っても病気やケガはするものです。

そんな時、海外で日本語で症状が言えたり、日本の医者に診てもらったりできれば良いですね。

アブダビにあれば良いのですが。皆さんもご存じのドバイにある「さくらクリニック」(本校の健康診断に毎年来られまます)や「メディカル・スウィーツ」の資料を添付しておきます。

